

北大企画

人が集まる → 知恵が集まる

持続可能なコラボレーション創出
のための全体討論

全体だけど討論じゃないよ

- 討論: ある事柄について意見を出し合って議論をたたかわせること。(大辞泉)
- 全員が話すためにグループに分かれます。
- 対話と議論をします。
- 闘いません(勝ち負けはありません)。
- アイデアや協力を惜しみなく出し合います。

全体討論の目的

- グループワークによって、各々の抱えている課題、現状を整理する。
- シンポジウムは出会いの場とはいえ、その場の名刺交換かぎりで終わることが多い。
- 出会いから繋がりの実態のあるネットワークの形成に！
- …と北大URAは思いました。

全体討論の流れ

- 概要説明(15分)
- 第1、2、3、4会議室、ロビー、ホワイエに分かれる
- 6人一組のグループでディスカッション
- 部屋でグループディスカッションを共有し、全員に伝えたいコラボの事例を選ぶ
- 16時15分までに大講堂に戻る。

課題解決のための対話手法 フューチャーサーチ

1. 現在、過去、未来の話をする。
2. アクションプランを作る。
3. アイデアの提供、協力のオファーを行う
4. 各部屋で共有する

グループ

これから各部屋に分かれます

各部屋で・・・グループワーク

- **6人一組でグループを作る。(5もしくは7でも可)**
 1. **タイムキーパーを決める。**
 2. **ファシリテーターを決める。**
 3. **発表者を決める。**
- **自己紹介がすんでない班は自己紹介する**
- **名刺、もしくは連絡先を書いた付箋紙を交換する。**

URAのフューチャー・サーチ

URAがいなかった頃、大学にこんな問題あったね(過去)

URAができてからこんな所が変わってきた(現在)

URAとしてこんなことがしたい
こんな課題を解決したい(未来、アクションプラン)

こうしたらうまくいくよ！
こんなことを一緒にしよう！(アイデアの提供)

過去と現在を話す

ワークシートに記入する。(一人1枚)

- 過去：URAがいなかった頃、大学にこんな問題あったね
- 現在：URAができてからこんな所が変わってきた

グループ内で発表しあう。

- ワークシートに記入したことを一人2分以内で発表しながらコメントしあう。

未来について話す

- URAとしてこんなことがしたい こんな課題を解決したい(未来、アクションプラン)
- こうしたらうまくいくよ！ こんなことを一緒にしよう！(アイデアの提供)

付箋紙に書く。

- グループで発表しあう

付箋に記入したことを一人2分以内で発表しながらコメントしあう。

URAの企画力と
チームワークを高
めたい。

白井

国際的な
レピュテーション
を高めたい。

森本

ポストアワード
のとき、どこま
でURAが関わる
のかもめてしま
う。

天野

提供できるアイデアを話す

- 誰かの課題に提供できる知恵、
- 誰かのアクションプランに提案できるコラボレーション

付箋に書く

- グループで発表しあう

「誰か」の付箋の上に貼ってあげながら、自分のアイデアをグループ内でシェア

来年のシンポジウムの
幹事校と一緒にやりま
しょうよ！

江端 → 白井さん

北大と一緒に
AAASの年会に
共同出展しません
か。

難波 → 森本さん

URAのやることや
らないことのポリ
シーを内外に示し
ておくのがいいと
思います。

岩崎 → 天野さん

URAのフューチャー・サーチ

URAがいなかった頃、大学にこんな問題あったね(過去)

URAができてからこんな所が変わってきた(現在)

URAとしてこんなことがしたい
こんな課題を解決したい(未来、アクションプラン)

こうしたらうまくいくよ！
こんなことを一緒にしよう！(アイデアの提供)

URAのフューチャー・サーチ

URAがいなかった頃、大学にこんな問題あったね(過去)

URAができてからこんな所が変わってきた(現在)

URAとしてこんなことがしたい こんな課題を解決したい(未来、アクションプラン)

URAの企画力とチームワークを高めたい。

白井

ポストアワードのとき、どこまでURAが関わるのか揉めてしまう。

天野

国際的なレピュテーションを高めたい。

森本

こうした

来年のシンポジウムの幹事校をやるといいですよ

江端→白井さん

にしよう!(

URAのやることやらないことのポリシーを内外に示しておくの外衣と思います。

岩崎→天野さん

北大と一緒にAAASの年会に共同出展しませんか。

難波 → 森本さん

部屋で議論をシェア

- 各テーブルから発表者が出て、テーブルで出た課題、アクションプラン、コラボを部屋でシェア。
- クロージングで全体と共有したい事例を部屋で選ぶ。

スケジュール

1. 全体説明 15分
2. 部屋を移動 5分
3. グループワークの準備 5分
4. 過去と現在の記入 5分
5. 過去と現在のディスカッション 15分 (2分×6人)
6. 未来の記入(付箋) 3分
7. 未来のシェア 15分 (2分×6人)
8. 提供できるアイデアの検討 3分
9. アイデアとアドバイスの提供 15分
10. 各部屋でのシェアと全体で共有したいコラボの選出 9分
11. 移動10分 (大講堂へ)
12. クロージング 16:15~

* 1班6人もしくは5人、7人になってください。